

精神障がい者の家族の会

東大阪なごみ会

東大阪なごみ会世話人代表 高尾ひろみ

家族会の出会いの中から、たくさんの気づきを得て、自分に合った対処法をみつけていきましょう

学び合い 語り合い 支え合いましょう

次回例会 10月8日(木) 若江岩田駅前希来里ビル6階第1研修室

次々回例会 11月12日(木) 同上



《2020年9月10日の例会報告》

7月の例会同様にコロナ対策の健康チェックを済ませて例会を始めました。9月は3番目のテーマ、訪問看護 ヘルパー ケースワーカーについてそれぞれの仕事の内容について知りたい、又どのような場合に支援が受けられるのか具体的に教えてほしいという事で、東大阪中保健所 健康作り課の岡本様に来ていただき説明を受けました。

①「精神科訪問看護とは」看護師や精神保健福祉士等が精神疾患をお持ちの方の自宅などを訪問し、相談 助言等を行い**地域で安心して生活**して頂けるように支援する。(病気や症状について、服薬について、管理等、生活上の相談含む) ②「居宅介護(ホームヘルプ)とは」自宅で入浴や排せつ、食事の介護、調理、洗濯、掃除、生活必需品の買い物等をする。③「精神科ソーシャルワーカー(ケースワーカー)とは」ご本人や家族との面談を行って状況を把握し、関係機関との連絡や調整を行い、**社会復帰**に向けての援助を行います。例えば医療費、生活費についての相談。手帳、年金、福祉サービス等の制度についての相談。退院後の生活と診療についての相談等、幅広い相談にのってくれます。上記の相談窓口としては東大阪市の各保健所にある担当窓口を訪ねてください。☆休憩をはさんで、会員が新聞に掲載されていたという「市民後見人について」皆さんと話し合いをしました。認知症や障害で判断能力がない人をサポートする「市民後見人」が注目されていますが「誰かの役に立ちたい」との思いからセカンドライフの一つの選択肢として選ぶ人が多いとか。内容については結構難しいようで、私たちに勉強が足りないという事がわかりました。☺(^_^)♪

《一言感想》*今日は久しぶりのなごみ会。懐かしいメンバーに会えて嬉しかったです。精神訪問看護のお話は行政の方が来られて、資料もたくさん頂き有難く思います。心丈夫でした。*訪問看護、ヘルパーの違いが分かり又利用者それぞれに割り当てられた時間がある事等、今度利用する時の参考にします。*皆様のいろいろな体験を聞き、薬には副作用もあるのだと知りました。他の人とも話したかったです*この病気には波があり、親の理解が1番大切。ここ来ると皆さんに思っている事が話せてうれしい。*息子さんがグループホームに入って1週間位。詳しい事が聞けず残念でした。来月も又楽しみに出席します。

10月の例会テーマは「自殺予防ゲートキーパー養成研修」(上記 岡本さんの説明あり)です。大家連講座については新型コロナウイルス感染拡大のリスク減少の為 大阪府と相談の上、9月以降の大家連講座のすべてが中止となりましたのお知らせいたします。

日時	テーマ	講師	場所